

福岡県労連

KEN ROREN

2020
5月号
No.162

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル 2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行 福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索



[定価]
1部 10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード：nihanisonaeyo (6/1～6/31)

国鉄労働組合九州本部 コロナ問題での JR九州の状況

新型コロナウイルスが猛威を振るい、緊急事態宣言が出されるなど毎日、大変な状況が続く。多くの企業で休業・テレワークなどの状況が報道されてきました。

JR九州も3月13日より新幹線・在来線特急列車を中心に運休を計画。その後、追加して新幹線・在来特急・快速・普通列車等、運休を拡大しました。また、ゴールデンウィークには、在来線の全ての特急列車の運休を行うなど、JR九州始まって以来の大幅な列車の運休が発生しました。

それに伴い、各箇所での「安全・安定輸送の確保及びお客様対応に必要な社員以外については休業を指示する」として、5月1日～31日まで、賃金を100%補償し、各職場で休業・テレワークを実施。営業関係では、大きな駅での窓口の縮小や旅行の窓口の閉鎖等を行いました。運転職場では、列車の運休に伴い多くの休業者が発生しています。現在調査中ですが、職場によっては毎日、10～15人の休業者が出ているようです。

また、学校が臨時休校している為、小学校等の子を持つ親に対して、「業務上支障がない場合」賃金100%を補償する新たな「有給休暇」を新設し対応しています。ようやく先週から、止まっていた団体交渉が開催され

るようになりました。組合の活動もほちほち開始するようになりましたが、まだまだ、不自由な生活が続くと思われます。JR九州の夏季手当は妥結していましたが、よかったのですが、運輸収入が激減している中、年末手当を心配する声も職場で上がっています。これまでに以上に気を引き締めて頑張らなければいけないと感じています。

働者に強い経営者もいるとのこと。本部にも1000件を超える労働相談の大半がそういう内容です。また、非正規の同僚は無し。正規職員には100%の賃金保障などがあるが、徐々に保育園児が増えてくる中で今までのような保育集団の維持や協働が可能かどうかと心配をする保育士の声もあると聞きます。福岡でも、「コロナ特別

新型コロナウイルス レポート2

5月16日に県労連において
コロナ問題緊急労働相談ホットラインを実施。
テレビ局の取材の中、弁護士と労働相談センターが
電話相談に応じました。

全国福祉保育労働組合 コロナ禍での 保育園の様子

5月に入り少しずつ登園してくる幼児が増えてきています。職員のシフトも午前中勤務、午後からの勤務といった独自の工夫など行う保育園もあります。反面、公定価格はそのままに収入になっていくもの、年休や無給での自粛などを労

働者に強いている経営者もいるとのこと。本部にも1000件を超える労働相談の大半がそういう内容です。また、非正規の同僚は無し。正規職員には100%の賃金保障などがあるが、徐々に保育園児が増えてくる中で今までのような保育集団の維持や協働が可能かどうかと心配をする保育士の声もあると聞きます。福岡でも、「コロナ特別

への通知などを組合のある職場に送るなどして、今、年休での対応でも、「年休ではない特別休暇」に要求し振替えさせるなどの取り組みを進めるように伝えています。

福岡県教職員労働組合

新型コロナウイルスの たたかい

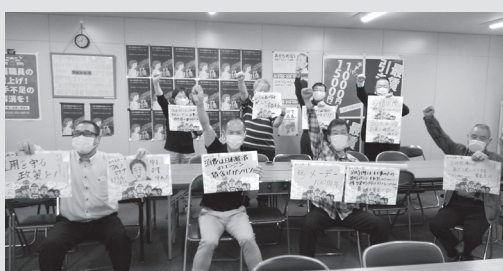
2月27日の夕方に安倍首相が臨時休校の要請、北九州市では翌日に臨時休校の通知発出。現場は大混乱。学年で学習進度をそろえる、転校生とのお別れ、持ち帰る物の準備、宿題プリントの作成等、大変な一日でした。臨時休校中預かり制度もありましたが時間も短く、学童が三密状態に。新学期の前に「臨時休校」が延期。始業式は行ったが入学式は式典なしに。4月以降は預かりの時間延長や簡易給食の提供(特別支援学校は通常給食)等、一定保護者の願いにも応える形に。教職員のリモートワークは、高校生以下の子育て中の教職員は、交通遮断(特別休暇)、13日に自宅研修措置、翌日には在宅勤務制度が通知され、教職員全員が在宅勤務でできる制度が整いました。県内では、市町村教育委員会によって対応が分かれています。臨時休校の措置は変わりませんが、いよいよ休業要請が終わり、学校再開の準備が始まっています。子どもたちを真ん中に考えたいものです。

第91回メーデー

e-May Day 2020

第91回メーデーは今回の新型コロナウイルス対応のため中止となりましたが、この重苦しい状況の中だからこそ、みんながつながり、一体感を持つ取り組みが必要と考え、すべての労働者が誰でもどこでも参加できる取り組みとしました。web上で一人ひとりの要求や夢を出し合う第91回メーデー「e-May Day2020」を関係組合を含めた労働者へ呼びかけました。

初めてSNSを使用した「オンライン」での開催となりましたが、共通のハッシュタグ、「#MayDay2020」「#メーデー2020」「#メーデー100年」をつけてつぶやくようにしました。また、時間は、5月1日(金)12時から13時を中心とした休憩時間など、自分が参加可能な時間での参加としました。



当日は、テレビ局2社の取材があり、現在の労働者の置かれている現状や県労連としての今後の対応なども含め通常のメーデー以上に内容を深めた報道がされました。

SNSがもう一つの運動の柱

コロナ禍で市民生活・活動の制限がある中、かつてないほどSNSを使った運動の広がりが生まれています。国民一人10万円特別給付金、「森友学園」を巡る第3者委員会による再調査を求めるネット署名が短期間に30万人超に、安倍首相延命のために進められてきた検察庁改正法案に対しては、「#検察庁改正法案に抗議します」の「つぶやき」が500万を超えました。今、web上の声为国政への大きな圧力ともなってきました。一方これに対して政府は、SNS監視・誘導のための多額の予算を組み、反する声を上げるとすぐに徹底的につぶしにかかるなど行っています。私たちが「SNS」を有効に活用し運動を拡げるため「Twitter」を通して日常的に発信を行っていきます。皆さんぜひ県労連のアカウントのフォローをお願いします。



詳しくはこちら

支援はスピードが大切！ 手続きは、簡易な方法で

新型コロナウイルス感染に関する緊急事態宣言の解除が宣言された5月15日、福岡県労連は中小業者の団体である福岡県商工団体連合会の田口剛史副会長の事務所を訪れ、緊急事態宣言下の中小業者の状況と地域の役割、国や自治体への要望を聞きましした。(聞き手・県労連)

県労連 4月7日に、緊急事態宣言がだされ、街から人通りがいなくなりまして。中小事業者のみなさんの商売への影響はどのようなものでしょうか。

田口 3月に福岡県内で感染者が確認されて以来、地元中小事業者ではお客さんが激減して、特に飲食店は収入が7割減っています。居酒屋等の飲食業は経営時間の短縮をして、従業員の給与を支払うために昼間の弁当販売など工夫をして頑張っていますが、大きな減収です。罹患を恐れて閉店

田口 私たち民商は、国や自治体からの支援や給付金などを載せたチラシをつくり、地域の商店街をまわって配布して激励をしています。色々な給付の制度が作られていますが、しっかりとした告知がされておらず、必要なのに情報が届いていません。高齢者はネットも使えず、商店街の方たちには大変喜ばれています。個人事業主さんへの手続きのサポートなどに力を入れ「支援と連帯」が民商の大きなアピールとなり、新たに会員に加わる方も増えていきます。

田口 国や福岡県、福岡市からの支援や給付制度を作ったとの報道が盛んにされていますが、今日の時点でまだ誰も給付を受けていません。今、大切なことはスピードです。3月から収入がないのに、家賃と人件費の毎月の支払いがあり、今すぐ支援が必要ですが、手続きに必要な書類が多く、煩雑です。給付を受ける前に倒産していた、とないかねません。無利子・無担保融資はコロナがいつ最終するか、客足がいつ元にもどるか判らないのに、返済しなければならぬ融資は受けられません。

田口 国保の傷病手当金の制度新設は、大変うれしく思っています。雇われている人だけでなく、事業主も対象にするように国と県に要望しています。

田口 そうです。支援をうけられない中小企業が廃業する

県労連 今回、税や国保の減免制度と同時に、国民健康保険で傷病手当金が新設されるようになりましした。これは、民商の長年の運動の成果ですね。

と雇用が減ります。当然、税収が減り、生活保護の申請が増えるでしょう。地域にとって負の連鎖が大きく膨らむことは目に見えています。商店街・市場などのお店と顔なじみの地域のひととをつなぐ存在である地元中小企業が希望をもつて事業を続けることは、地域の経済だけでなく、町内会や消防団などの安全な地域の確保などにも大きな役割を担っています。今こそ地元中小企業を支えることが重要ですよ。

県労連 自粛と補償はセットですよ。野党は一致していません。中小業者のみなさんあって、はじめて街や地域があるのであつて、倒産・廃業へとすすむと地域の経済というよりも地域そのものが壊れてしまいます。

田口 そうです。そこに住む人と商売をする人が地域を作っているわけですから、コロナウイルスの感染を防ぎ、早く普段通りの生活ができるよう頑張りたいですね。今日は、ありがとうございました。



田口副会長(写真右)と県労連懸谷副議長

田口 私たち民商は、国や自治体からの支援や給付金などを載せたチラシをつくり、地域の商店街をまわって配布して激励をしています。色々な給付の制度が作られていますが、しっかりとした告知がされておらず、必要なのに情報が届いていません。高齢者はネットも使えず、商店街の方たちには大変喜ばれています。個人事業主さんへの手続きのサポートなどに力を入れ「支援と連帯」が民商の大きなアピールとなり、新たに会員に加わる方も増えていきます。

この本おすすめ

「ふとふり返ると」 近藤喜文画文集

出版/徳間書店
2,300円+消費税

コロナ禍により読書の機会が増えている今日この頃。読み物に飽きたときには画集などはいかがでしょうか。ジブリ映画「耳をすませば」の監督、近藤喜文さんの画文集『ふとふり返ると』は色鉛筆によるスケッチ集です。描かれるのは街を走る自転車や公園ではしゃぐ子どもたち、手をつないで歩く母子といった何気ない風景。その優しいタッチと添えられたメモから伝わるのは近藤監督の視線のあたたかさ。日常のありふれた場面にも心の躍動が溢れているのだと気付かされます。疲れたときにこそ手に取りたい、優しくなれる一冊です。

(ふじおかげんき)

編集後記

●朝日新聞の全国世論調査(5/23~24)によると、内閣支持29%・不支持52%で第2次政権で最低となった。政府のコロナ対策の対応を評価しない57%・評価する30%だった。いよいよ危険水域になった感がある。●コロナ感染の対応で世界の指導者を見ると、ドイツのメルケル首相、台湾の蔡總統、韓国の文大統領などが国民から多くの支持を得ている。一方、イタリアやハンガリー、スペイン、イスラエルなどでは極右やポピュリズムの台頭が言われている。●新型コロナウイルス感染症の蔓延を抑え込むこと。地域経済をどう廻して回復するか。二兎を追うこの問題は待ったなしの難問であるが、政治がどう国民に寄り添うことができるか、問われている。私たちの運動課題でもある。(は)

2020年九州きかんしコンクール
上位入賞紙は安定した高評価

県労連はじめ加盟組合も多数参加した機関紙協会による九州きかんしコンクールの審査結果が発表されました。全46紙の応募があり主な受賞紙は次の通り

最優秀賞 「あしば」 福建労大牟田支部

優秀賞 ●「生きる」福岡県生活と健康を守る会連合会
●「福建労」福岡県建設労働組合
●「いきいき健康」福岡医療団
●「ながさき自治体の仲間」長崎自治労連 他、審査員特別賞6紙、奨励賞5紙